

令和2年度分 元気のみなもと補助金 審査結果

No.	申請補助事業名	申請団体名	担当課	R2年度申請額(円)	R2年度交付決定額(円)	審査会の審査結果	審査委員のコメント
1	女性団体じょうそう事業委員会事業補助金	女性団体じょうそう事業委員会	人権推進課	75,000	75,000	A	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画の推進に貢献する取組として評価できるが、平成30年度の自主事業である「ピーズアケササリー講座」「ハバ・おじいちゃんと一緒にキッチン！」「クリスマスリース講座」には男性は何名程参加されたか。自由参加型の講座等は、原則受益者負担による運営の考えを加味いただきたい。また、元気のみなもと補助金も創設以来10年が経過しており、新たな団体等から取組みも申請されているため、貴団体の取組が地域づくりに貢献されていることは十分に理解しているが、そろそろ補助金に頼らない自主運営の検討をお願いする。 ●昨年実績から世代を超えて参加できるような工夫や参加費を徴収するなどの努力が見られる。その一方で、男女共同参画社会実現に向けた啓発活動に伴うセミナーや講演会が主な事業内容であるなら基盤補助金への検討も必要ではないか。 ●男女共同参画推進の取組として大変評価できる。また、関係団体との連携による様々な事業実施により、市民意識の醸成に十分につながっている。補助金交付開始から年数が経過している。貴団体は地域づくりに大いに貢献されており、講師謝礼等を見直すことにより自主運営を目指していただきたい。 ●趣向をこらした事業を展開し、目的達成に向けての啓発活動は評価できる。ただし、毎回同じ人が参加者していないか、その点に注意する必要がある。 ●会費も徴収し、実績も上げられている。各年度の活動内容にも若干ではあるものの変化も見られる。当面は継続しつつ、各協力機関等と連携を図り、共同参画の市民意識への向上に努められたい。 ●行政と連携し、条例も制定され、事業を実施し寄与している団体であるため、昨年度も同じ意見が出ているが、基盤補助金への移行を検討してはどうか。 ●行政と連携し、男女協働参画に寄与している団体であり、活動内容も評価できるものである。 ●前年度からの指摘「基盤補助金化」について、引き続き検討されたい。
2	常総地区保護司会補助金	常総地区保護司会	社会福祉課	150,000	91,000	A	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関と連携をしながら、地域の保護観察対象者等の更生援助・保護活動のほか、青少年の非行を未然に防止するという取組をされていることに感謝する。ただ、昨年度と比較して6万円程申請額が増額となったのはどのような理由か。本年度の申請書や平成30年度の実績報告書に各事業に要した費用や人員が明記されていないため判断が困難である。補助金の申請に係る積算根拠を記載願う。 ●小・中学生を対象とした薬物乱用防止教室の開催や地域の犯罪・非行の再犯を防ぎさらに未然防止の啓発活動など様々な活動を行っていることは高く評価できる。今後も継続が必要な公益性の高い事業である。 ●自主運営を目指し、年々減らしていただいた補助申請額が15万円と増額となっている。実績報告書より経費が多く要したことはわかるが、事業にかかる経費面等の見直しをしながら将来的には自主運営を目指していただきたい。 ●保護司として関わる役割は、社会的にも重要な事業であり、今後も継続すべきである。 ●更生保護活動に留まらず、社会を明るくする運動等、地域福祉活動までも実施している。昨年度からは、石下総合福祉センター内にて保護司活動も更に強化された現状である。地域における防犯活動も公益性・必要性が高く継続すべき事業である。 ●社会的貢献として評価できる。継続して実施して欲しいと考えるが、昨年同様に同額補助が適当である。また、繰越金は多いがその理由が明確であるので特に問題はない。 ●厚生保護や青少年の非行防止等をボランティアで行っており、今後も継続が必要な公益性の高い事業ではあるが、昨年と同額補助が適当である。 ●保護司は成り手がなかなか見つからないという話を聞く。保護司制度を続けていくためにも非常に必要な会だと思ふ。市民へのPRIにますます努めていただきたい。なお、繰越金はきちんとした理由があるので納得できる。
3	常総市更生保護女性会	常総市更生保護女性会	社会福祉課	250,000	187,000	B	<ul style="list-style-type: none"> ●日々、地域の犯罪予防活動や青少年の健全育成にご尽力されていることに感謝する。補助金交付額の7割が広報誌作成費に充当されていることに寂しさを感じる。できるだけ事業費に活用いただきたい。元気のみなもと補助金も創設以来10年が経過し、新たな団体等から取り組みも申請されており、貴団体の取組が地域づくりに貢献されていることは十分に理解しているが、補助金に頼らない自主運営の検討も視野に入れていただきたい。 ●犯罪予防活動、青少年健全育成、子育て支援を進めるなど事業内容は重要で高く評価できる。また、イベント等へ参加するなど市民へ広くPRすることで、活動への効果が期待できる。補助金以外の収入もあることから昨年同額の補助が適当である。 ●青少年の健全育成並びに犯罪のない地域づくりにご尽力されていることに感謝する。主な活動事業が広報誌作成と見受けられるが、啓発活動として広報誌は可能な限り年1回とし、できるだけ事業費に活用いただきたい。補助金交付開始から年数が経過している。貴団体は、地域のために大いに貢献されており、長年の取り組みが浸透してきているため、将来的には自主運営を目指していただきたい。 ●事業活動については、社会的な貢献度は非常に高く評価できるが、補助金以外(還元金)の収入も多いため、前年度同額補助が妥当と考える。 ●保護司会と連携を図り、社会を明るくする運動等も実施している。青少年の健全育成、軽犯罪等の防止活動及び地域福祉活動にも貢献されている。公益性・必要性高く、継続と思われる。 ●活動目的に対し、努力しているので評価はできる。しかし、ここ数年補助金が同額であるのに対し、申請額が25万円と要望している。補助金18万7千円で運営ができていますので、申請額を同額にしてはと考える。 ●厚生保護活動を広め、青少年を対象とした支援活動は重要と考えるが、昨年と同額補助が適当である。 ●保護司は成り手がなかなか見つからないという話を聞く。保護司制度を続けていくためにも非常に必要な会だと思ふ。市民へのPRIにますます努めていただきたい。
4	常総市戦没者遺族会補助金	常総市戦没者遺族会	社会福祉課	200,000	160,000	B	<ul style="list-style-type: none"> ●日本国民として、英霊を顕彰するとともに戦争体験を後世に伝え恒久的な平和への願いを伝承していくことは大切な取組と考える。終戦から74年を経て会員も減少傾向にある中、青年部の育成や慰霊碑の維持管理など、会の運営にご苦労されていることがうかがえるが、国や県と連携し継続的に活動していただきたい。 ●次世代へ恒久平和の継承活動として、戦争体験の語り部事業を実施する等、戦争経験者が年々減ってきている中の活動であるが必要な事である。昨年と同額補助が適当である。 ●会員も減少傾向にある中、会の運営にご苦労だと思ふが、市民ニーズが非常に高く継続的に活動していただきたい。 ●戦争体験者が少なくなる中、戦争の悲惨さを後世に伝えなければならぬことから、補助金の支出は必要である。 ●全国的な活動団体であり、戦争を後世へ伝承する事を大きな目的とした活動を継続している。公益性・適時性があり、今後も継続を要する団体と考える。 ●活動内容については、公益性も高く、市として補助は必要であるので、昨年同様の補助が適当である。 ●公益性の高い遺族会活動への補助金の支出は必要であるが、昨年と同額補助が適当である。 ●必要な補助金である。慰霊碑管理など、今後の後継者がつながらないと、市の事業化となるだろう。市が最大限協力しながら、市民レベルで戦争の犠牲者を弔う活動は、実際の戦争体験者が消えていく中で、大きな意味がある。

令和2年度分 元気のみなもと補助金 審査結果

No.	申請補助事業名	申請団体名	担当課	R2年度申請額(円)	R2年度交付決定額(円)	審査会の審査結果	審査委員のコメント
5	石下ぼらんていあの会補助金	石下ぼらんていあの会	社会福祉課	40,000	40,000	A	<ul style="list-style-type: none"> ●自主財源の確保にも努力されているようだが、元気のみなもと補助金も創設以来10年が経過し、新たな団体等からの取組も申請されてきているため、そろそろ補助金に頼らない自主運営の検討も視野に入れていただきたい。申請事業の積算根拠を明らかにしてほしい。 ●障がい者支援や環境美化など活動内容から地域の福祉向上に努めていることは高く評価できる。活動の範囲を市内全体に拡大し今後も継続して欲しい。 ●貴団体は、自主的な様々なボランティア活動を継続により地域のために大いに貢献されており、感謝申し上げます。引き続きの活動をお願いする。そして将来的には、バス借り上げ料等を見直しいただき、自主運営を目指していただきたい。 ●ボランティアとしての活動内容は、十分に評価でき、財源の確保にも努力され、小物品販売など自助努力がみられる。活動内容から見ても、補助金要求が少額すぎではないかと感じる。 ●市民を対象に幅広いボランティア活動を実施している様子が伺える。地域福祉活動を継続する中、団体名称も広く浸透しつつある将来性を感じる活動を継続している。特に、障がい福祉の向上に努められているものと思われる。公益性・有効性・必要性も高い。 ●市の様々なイベント等で努力していただいている為、評価できる。継続して市も補助していくべきである。 ●少額補助金であり、自主運営に向けて努力してほしい。また、活動範囲を常総市全体に拡大できないか検討願いたい。 ●補助の範囲を超え、非常に積極的な活動を展開しているとのヒアリング内容であった。決算内容や活動内容をもっと細かく書くことにより、もっとPRをしても良い。
6	常総市母子寡婦福祉会補助金	常総市母子寡婦福祉会	こども課	130,000	104,000	B	<ul style="list-style-type: none"> ●近年では離婚等によるひとり親は珍しくない時代である。しかし、子どもにとって両親が揃っている子とひとり親の子とは、余暇の過ごし方に大きな違いが生じてしまうことは否めない。親は自身の責任と認識してひとり親で子育てをしているかもしれないが、子には責任はない。本取組については、地域で子どもを育て守るといった観点から引き続き支援が必要と考える。昨年度も指摘させていただいたが、実績報告書に各事業の参加者の人数を記載願う。 ●母子・父子等のひとり親家庭を支援する事業は将来を担う子どもたちの成長を助けるため必要性の高い団体である。事業内容からも多くの親子の参加が見られるが、参加者負担も考えるべきではないか。運営の見直しも検討されたい。 ●ひとり親の家庭ではどうしても親が多忙となり、親子の触れ合う機会が少なくなってしまう。そんななか貴団体の活動として、親子の交流の場づくりのため毎年行き先や内容を変更し、体験を積み重ねている。この取組については、地域で子どもを育て守るといった観点から将来的に自主運営できるように支援をしていく必要がある。 ●ひとり親家庭等の子どもたちには将来の成長を見据え、必要性の高い団体と評価する。今後は活動内容の見直しも検討されたい。 ●事業目的にもあるが、母子家庭等は親子のふれあう機会を持つことは、大切なことであることは基より、子どもの日常生活及び成長には欠かせないことは言うまでもない。同じ境遇の世帯とのふれあう場の提供ともなっている。適時性・有効性も高い。 ●事業の目的内容について評価できる。昨年同額の補助が妥当と考える。 ●活動内容については十分に評価できるが、各イベント参加者には最低限の自己負担は必要と考える。 ●年会費1000円を徴収しているが、研修会など、外に出ていくイベントについては、別途少しでも参加費をお願いする方が良いのではないかと。
7	市民の森十一面山保全の会補助金	市民の森十一面山保全の会	生活環境課	600,000	300,000	C	<ul style="list-style-type: none"> ●平地林の美化の取り組みは自然環境を保護する活動として素晴らしい取組と考える。しかしながら、当該事業は事業費の88%が補助金に依存する計画となっており、元気のみなもと補助金の創設以来から継続的に補助金の申請をいただいている事業である。貴団体の取組が地域づくりに貢献されていることは十分に理解しているが、新たな事業等も提案されている状況であるため、そろそろ補助金に頼らない自主運営の検討も視野に入れていただきたい。 ●貴重な自然環境の整備保全、市民や子どもたちに自然体験の場の提供等事業の活動は重要であり、必要性は評価できる。しかし、土地の所有者が財産を管理することは当然であり、地権者の年会費の検討も考える必要があるのではないかと。 ●当該事業は毎年事業費の8割以上が補助金に依存している現状である。貴団体は、地域のために大いに貢献されているが、補助金交付開始から年数が経過しているため、市民協働の観点から自主運営を目指していただきたい。 ●ボランティアとして、環境保全に取り組む活動は評価できるが、自然環境を守る観点から民地へ補助金を投入しているが、地権者が自己負担で財産の管理をすべきであり、地権者からの会費の見直しが必要である。 ●昨年の審査時にも意見があった、桜の植樹が継続実施となっている。修理費が掛かるものも理解はできるものの、補助金の50%以上を充当するのは疑問が生じてしまう。自然環境の保全活動は大切なことではある。今後も継続性はあるものと考えているが、事業内容の見直しの必要性も感じられる。 ●活動内容については重要と思うが、植栽費の桜苗木、日本さくらの会に加盟してあるのであれば、無料でいただけると考える。 ●貴重な自然環境を守り、維持していく活動は重要であると思われるが、昨年と同額補助が適当である。
8	里地里山保全事業費補助金	里地・里山保全むくの木会	農政課	158,000	158,000	A	<ul style="list-style-type: none"> ●里地里山の維持保全を中心に様々な事業に取り組んでおられる素晴らしい活動と考える。補助申請も事業内容と収益事業の見直しを行い、前年度とは異なった申請内容に変更されている。令和3年度から自主運営を検討されているとのことなので頑張ってください。 ●貴重な里山の原風景を保全し未来へ引き継いでいくため里山の環境保全活動や環境教育の支援を通じて地域の自然環境保全や地域活性化に貢献していく事業は高く評価できる。また、あすなろの里と連携し体験指導等への協力など効果が見られる。事業について有効性、必要性は高い。 ●補助申請も事業内容と収益事業の見直しを行い、毎年異なった事業に取り組んでいる。令和3年度を目標に収益事業を拡充しながら、自主運営を検討されているとのことなので、頑張ってください。 ●耕作放棄地の再生など地域内の環境美化への取組は大変評価できる。また、毎年度補助経費の削減にも努力している点も評価すべきである。自主運営に向けての自助努力は大いに評価すべきである。 ●自然環境の保全は大切であり、継続性も強い事業と感じる。あすなろの里との連携も見られ、今後も活動内容の検討も含め継続できればと考える。対象者も幅広い様子が伺え、市のPRも兼ねる事業として検討を重ねていただきたい。適時性・有効性を持つ事業である。 ●里山の環境保全活動や教育、地域活性化に寄与している。また、あすなろの里のイベント等に対し、協力をいただくなど、ご尽力をいただいていることに感謝し、高く評価できる。来年度を目標に自主運営を目指しているとのことなので、今後も引き続き努力されたい。 ●補助金対象経費の内訳も明確に示されている。また、活動内容についても十分に評価できる。今後は補助金不要の自主運営に向けて努力してほしい。 ●自主事業を実施し、財源を確保し、事業費に循環させる仕組みを構築中である。令和3年度に補助金から自立する計画が進んでいるとのことである。事業が軌道にのるまでの間というきちんとした終期を定めて活動を行っている点は、団体補助金事業のモデルと考える。よって、終期までの補助は、納得のできるものである。

令和2年度分 元気のみなもと補助金 審査結果

No.	申請補助事業名	申請団体名	担当課	R2年度 申請額 (円)	R2年度 交付決定額 (円)	審査会 の審査 結果	審査委員のコメント
9	女性団体補助金	常総市地域女性団体連絡会	生涯学習課	200,000	144,000	B	<ul style="list-style-type: none"> ●女性の自立と社会参画を図ることを目的に、様々な地域活動や事業に取り組み、地域づくりに貢献されていることと拝察する。団体の活動のために、収益事業等や団体等からの会費の徴収を行っているようだが、個人会費120円というのは安価に思う。団体の自主運営は困難と係るのだが、元気のみなもと補助金は、事業を軌道に乗せるための事業費補助金で、原則3年間の終期設定を基本としている。近年、新たな事業の提案なども出てきているため、団体運営について個人会費の見直しや事業を精査していただき、そろそろ団体の自立に向けての検討も視野に入れていただきたい。事業ごとに具体的な積算根拠がわかるようにしていただきたい。 ●子育て支援、環境保全活動、その他市開催のイベント等へ積極的に参加し、活動内容も幅広く、公益性、公平性も高く今後の成果も期待できる。収入として支部からの運営負担金があるが、会費1人当たり120円は見直し検討が必要であると思われる。 ●収益事業等や団体等からの会費の徴収を行っているようだが、個人会費120円というのはとても安価に思われる。団体運営について個人会費の見直しや事業を精査していただき、団体の自立に向けて検討していただきたい。 ●事業の活動自体は評価できるが、会費の見直しは必須と考える。 ●ボランティア活動等もあわせて実施し、地域社会の向上に努めることが目的と思われ事業継続が望ましい。しかしながら、団体自ら計画した事業の検討も必要なのではと感じられる。必要性は感じるが、自主運営も視野に、広く市民を対象とした活動も検討願いたい。 ●市主催のイベントの参加、各地区公民館まわりの協力、防災学習等に全面的に協力をいただいていることは高く評価できる。しかし、会の会費として120円/人は定額であり、会費を増額し、要望額を削減していただき、引き続き市への協力を願いたい。 ●社会貢献活動をする団体として認知度も高く、補助金の支出は必要であるが、昨年と同額補助が適当である。 ●会費については、もう少し金額を見直し、自主運営に向けた方向性を意識していくべき。
10	常総市小中学校PTA連絡協議会補助金	常総市小中学校PTA連絡協議会	生涯学習課	700,000	315,000	C	<ul style="list-style-type: none"> ●毎年、補助金申請額70万円ということで申請をいただいているが、事業内容は精査いただいているか。元気のみなもと補助金は、事業を軌道に乗せるための事業費補助金ですので、団体等の運営に係る負担金は補助金の対象外となる。PTA連絡協議会の小中学校の運営に係る必要性は重々承知しているため、次回申請時には是非とも申請内容の精査をお願いする。申請事業の積算根拠を明らかにしてほしい。 ●子どもたちに豊かな人間性を培うため、学校と家庭、地域社会を結び懸け橋としてのPTA活動は不可欠である。しかし、少子化が進んでいる現在、上部への分担金についても見直し、検討が必要である。 ●毎年度31万5千円の補助金で運営されていることから、前年度同額補助が妥当と考える。 ●児童虐待等、日々聞こえてくる今日において、各学校PTAの連携は必要であり、公益性・適時性は高い。しかしながら、事業内容の検討も願いたい。協議会自らが計画した内容で学校と連携した事業も実施できればと考える。 ●青少年の健全な育成を図るための事業で評価は出来るが研修費の内容が不透明である。特に市P連指導者研修会の支出がどのようなものか疑問である。 ●団体への補助金の支出は理解できるが、昨年と同額補助が適当である。 ●申請額が採択額の倍額である。申請額の精査が必要。
11	水海道神楽保存会 楽々会補助金	水海道神楽保存会 楽々会	生涯学習課	35,000	35,000	A	<ul style="list-style-type: none"> ●市の指定無形民俗文化財ということで、後継者等の課題なども含め伝統芸能を後世に伝えていくことにご苦労されていることがうかがえる。引き続き「水海道神楽」の伝承にご尽力いただきたい。 ●市の貴重な文化財を維持し、後世に伝えていくことは重要なことである。また、市指定の無形民俗文化財ということで公益性は高い。引き続き後継者育成に努めていただき、正会員の増加に繋げていただきたい。 ●様々な行事等を通して、市の指定文化財となっている伝統芸能を後世に継承していくという大役を担っていただき感謝している。団体の高齢化等問題点も多くなると思うが、引き続き「水海道神楽」の伝承にご尽力いただきたい。 ●市の伝統芸能を後世に継承していくことは重要なことで、市として補助すべきと考える。 ●公益性・有効性・必要性が高く継続すべき事業である。伝統芸能の継承を目的とした、必要最小限の経費ではないかと思われる。後継者の育成をも含めた、補助金申請を検討してはどうか。 ●文化財の保存は重要と考える。後継者の育成、市イベント等への協力もいただいているので評価できる。引き続き努力されたい。 ●伝統芸能を後世に伝えることは行政の使命と考えます。今後も会員の増加に努力していただきたい。 ●市として保護する必要もある。後継者が正会員になれるよう、活動を継続していただきたい。
12	大塚戸芸能保存会の 伝承	大塚戸芸能保存会	生涯学習課	70,000	52,000	B	<ul style="list-style-type: none"> ●市の指定無形民俗文化財ということで、後継者等の課題なども含め伝統芸能を後世に伝えていくことにご苦労されていることがうかがえる。引き続き「大塚戸綱火」の伝承にご尽力いただきたい。毎年、補助金申請額7万円ということで申請をいただいているが、事業内容は精査いただいているか。昨年も指摘させていただいたが、補助金の活用先として「先進地視察」に充当するのであれば、事業開催に係る「使用料・賃借料」「備品購入費」等に充当いただければと考える。 ●県指定無形民俗文化財の保存、市に残る貴重な伝統芸能の継承していくことは重要である。また、地域の住民とふれあい故郷の良さを再発見することで、市外から訪れる観光客へつながっていくのではないかと考えられる。年々高齢化が進む中ではあるが、若手会員の増員に努め後世に伝えてほしい。 ●様々な行事等を通して、市の指定文化財となっている伝統芸能を後世に継承していくという大役を担っていただき感謝している。引き続き「大塚戸綱火」の伝承にご尽力いただきたい。補助金申請額7万円ということですが、「先進地視察」への充当でなく、補助金の活用について精査をよろしく願います。 ●伝統芸能を後世に伝え、保存していくことは重要なことである。「大塚戸の綱火」の保存・伝承を支援すべきと考える。 ●公益性・有効性・必要性が高く継続すべき事業である。伝統芸能の継承を目的とした、必要最小限の経費ではないかと思われる。後継者の育成をも含めた、補助金申請を検討してはいかがか。 ●市の芸能保存ということで継承していくことはなくてはならない。ただ、出演報酬が低額と思う。もう少し、増額していただけるよう努力していただきたい。 ●伝統芸能を後世に伝えることは行政の使命と思うが、昨年と同額補助が適当である。 ●文化財保護の観点から、後継者を確保し、貴重な無形文化が後世に伝承されるよう、活動を継続していただきたい。なお、交付額は、平成30年度の事業+αの事業が無いのであれば平成30年度決算額で良い。

令和2年度分 元気のみなもと補助金 審査結果

No.	申請補助事業名	申請団体名	担当課	R2年度申請額(円)	R2年度交付決定額(円)	審査会の審査結果	審査委員のコメント
13	常総市文化協会補助金	常総市文化協会	生涯学習課	375,000	188,000	C	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度は平成28年度の繰越金が申請額以上であったという理由で不採択になってしまったと思われるが、平成30年度の決算でもまだなお40万8千円の繰越金がある。昨年度の事業費が63万3千円ということで確かに20万円ほど事業費は増えているようだが、まだかなりの部分を補助金で賄うことなく事業が実施できるものと推察する。申請事業の積算根拠を明らかにしてほしい。元気のみなもと補助金は、団体の実施する事業が軌道に乗るまでの支援として、原則的に3年の終期設定を設けている。貴団体が地域づくりに貢献されていることは重々承知しているが、新たな事業提案して頂いている団体もあるため、自主運営の検討というものを視野に入れて事業の実施をお考えいただければと考える。 ●市内文化団体との連携と親睦を図り、市民文化の育成と文化的生活の向上に貢献することは大切である。しかし、会報の発行については協賛金を募るなどの努力を考えていただきたい。また、今後は会費や参加費の見直し検討も必要ではないかと考える。 ●昨年度と同様に、繰越金がかかなりあると思われる。会の努力等による部分も大いにあると思うが、事業の実施が可能と考える。貴団体は、地域のために大いに貢献されているが、補助金交付開始から年数が経過しているため、会報のページ数を減らすなどして自主運営を目指していただきたい。 ●令和元年度は限っては自主運営しているようで、前年度からの補助金要求の見直しは評価できる。補助金の使途内容を詳細に示していただきたい。 ●会報とチラシのみの補助金充当はいかがなものか。事業内容の検討も必要ではないかと感じる。 ●根本的に令和2年度は繰越金と会費で賄えると思う。将来的に協賛を得られるようになっていくことを期待する。 ●団体への補助金の支出は理解できるが、繰越金が多く減額が必要である。 ●広報紙に広告掲載を行って協賛金を得るなど、支出額を抑制する方策を検討すると良い。
14	鈴木頂行顕彰会補助金	鈴木頂行顕彰会	生涯学習課	140,000	112,000	B	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな団体・事業の立ち上げということで、郷土の先人の偉業を研究し、広く市民に周知を図り伝承していくという取組は、地域の歴史と市民の文化面における意識の醸成という意味で大いに期待できる取組と考える。ただ、大人数の団体様のようなため、総事業費に対する会の負担額についてもう少し検討いただきたい。 ●市の歴史が明らかになっていくことは、市民の文化的向上につながっていくと考えられる。広く市民の皆様と共に未来のまちづくり、ひとつづくりに対し、今考えるべき事へのヒントを講師を招いて勉強会をするなどの事業は高く評価すべきである。今後は、子どもたちの教育につながるものになっていくことを期待する。 ●郷土先人の偉業を伝承していくために新たな団体・事業の立ち上げたということで、感謝を申し上げる。元気のみなもと補助金は、事業が軌道に乗るまでの立ち上げ支援として、原則3年間の終期設定を基本としている。つきましては、活動費をすべて補助金に頼るのではなく、補助金の充当先をもう少しご検討いただきたい。 ●常総市の歴史を研究し、広く市民に発信していただきたい。次世代に繋がるまちづくりのヒントの提案をお願いしたい。 ●当市の歴史を知り継承する活動は、公益性・公平性・必要性も高く大切事業のひとつと感じる。実施にあたり小中学校とも連携し、歴史の勉強にも役立ててもらえればと考える。 ●ボランティア活動として、補助金に頼らず努力していただきたい。(活動回数が年1回程度の為) ●新規に設立された団体であり、スタートアップ補助金が適当である。郷土の発展に寄与した人物の研究や普及を図ることは、重要な行政の使命と思うが、他の文化的補助金とのバランスを考えると、補助金の減額が適当である。今後は自主運営に向けて努力してほしい。 ●立ち上げ初期への補助は団体育成方策として、市の補助があつて良い。事業の趣旨も納得できるものである。なお、このような新規団体については、次年度は、補助金の終期の目安なども団体と相談したうえでヒアリングに臨んでいただけるとなお良い。
15	常総市少年の主張大会事業補助金	常総市少年の主張大会実行委員会	生涯学習課	629,950	375,000	A	<ul style="list-style-type: none"> ●毎年実施されている少年の主張事業はとても素晴らしい事業と考える。しかし、昨年より若干少なくなったがそれでも事業費の91%が補助金に依存した計画になっているほか、平成30年度の決算から比較すると倍以上の事業費が計上されている。発表記録集を作成したいという思いは以前から伺っている。団体の取組として資金的に事業の実施が困難であるならば、市・教育委員会と協議し、事業実施に係る方策を協議してみたいかがか。 ●市内全中学生に向けての青少年の健全育成推進活動の事業として素晴らしい取組と考える。しかし、対象者が市内の中学生という限定を考えると、基盤補助金への移行を検討すべきと考える。 ●少年の主張大会を毎年実施されていることは、とても大変なことと思っている。しかし、事業費の9割が補助金に頼る内容となっている。事業内容からすると市で行う事業かなとも思われるので、担当課と十分に協議のうえ、事業内容の精査をお願いする。 ●事業がほぼ補助金であることを考え、市内中学校が対象であるので、教育委員会の事業として予算化できないものか熟考いただきたい。 ●青少年の健全育成を通じて、様々な思い・悩み・現在社会の中で問題に向き合い成長につながる事には意味があり、有効性・必要性も高く継続性のある事業と考える。基盤補助金の対象ではないかとも考える。 ●昨年も述べたように、教育委員会の主管事業として扱うべきと考える。今後、基盤補助金へ移行してはどうか。 ●中学校において例年継続している事業であり、認知度も高いと感じる。平成26年から貸し切りバスの基準が変わり、バス代の増加が主な補助金増額の理由と考えられることから、その他の経費削減に努めることを条件に増額も検討する。 ●ただし、市の事業として実施し、団体さんに全面的にご協力いただくような構図が構築できると良い。
16	常総市ミニバスケットボール大会(5月・3月)	常総市ミニバスケットボール連盟	スポーツ振興課	60,000	30,000	B	<ul style="list-style-type: none"> ●事業実施の趣旨については素晴らしい取組と考える。しかし、昨年度も指摘させていただいたが、補助金の充当先がすべて賞品代となっている。当該事業への補助の観点から青少年の健全育成に主眼を置いているため、まずは事業(大会)実施に直に必要となる消耗品や備品に充当すべきと考える。補助金の原資は税金であり、広く市民に還元できるモノと考えているため、賞品代は極力大会参加料等で賄ってもらいたい。 ●スポーツを通して心身の鍛錬を図り、児童間の親睦を深め子供たちの体力向上や仲間づくりに大きな成果を上げていることは評価できる。また、大会を行うことで他チームとの交流が深まることは素晴らしいことである。経費が大会の賞品代であるなら参加費の増額も検討が必要ではないか。また、協賛を募るなどの努力も必要である。 ●団体が自主的に主催していることについては、素晴らしい取組と思われる。しかし、補助金の充当先が全額賞品代となっていることから、大会参加料を増額するなどして、充当先を見直していただきたい。 ●スポーツを通じて青少年の育成という点は評価できるが、補助金が全て賞品代というのは少々疑問に感じる。補助金の充当先の見直しが必要と考える。 ●ミニバスというスポーツを通じ、子どもたちの健全育成に大きく貢献していると思われる。身体を使ったスポーツを通じたふれあいは、現在社会において減少傾向にあると感じている。ぜひ、今後も継続をお願いする。 ●子供たちの健康増進と体力向上につながる事業として評価できるが、2回の大会で参加費が違うことと、参加賞品は、補助金で賄うものではない。 ●ミニバスケットを通じて青少年の健全育成に寄与している。補助金の支出は理解できるが、昨年と同額補助が適当である。少額補助金であり、自主運営に向けて努力してほしい。 ●補助金を賞品代に充てるのではなく、運営費に充て、賞品は、スポーツメーカーなどからの協賛を募るも検討の価値がある。

令和2年度分 元気のみなもと補助金 審査結果

No.	申請補助事業名	申請団体名	担当課	R2年度申請額(円)	R2年度交付決定額(円)	審査会の審査結果	審査委員のコメント
17	学童野球大会事業補助金	常総市学童野球連盟	スポーツ振興課	42,000	42,000	A	<ul style="list-style-type: none"> ●軟式野球を通して青少年の健全育成を図る取組は素晴らしいと考える。補助金の充当先として、賞品代への充当が見られるが、その他に大会運営の必要経費として消耗品費・事務費等が5万円以上あるようなので、先ずはそちらの方に補助金を充当いただきたい。賞品代は、極力大会参加料等で賅ってもらいたい。 ●学童野球を通じて、児童の心身の鍛錬を図り、また親睦も深めている。近隣市町村のチームを招待することで市のPRし地域活性化につなげていることは素晴らしいことと考える。継続的な事業として開催していただきたい。 ●連盟として経費の節約等に年々取り組まれており、補助額が減ってきている。大会としてかなり定着しており、参加チームも年々増えてきていることから、将来的に参加費等で大会運営できることを期待している。 ●少年団としての活動自体は評価できる。市として多少の負担は必要であると思うが、将来的には補助金に頼らない自主運営を望む。 ●スポーツを通じ、子どもたちの健全育成に大きく貢献していると思われる。身体を使ったスポーツを通じたふれあいは、現在社会において減少傾向にあると感じている。ぜひ、今後も継続願いたい。繰越金が多い点が気に入り疑問である。 ●少年団の育成、健康増進として評価できる。予算の用途についても妥当と考える。 ●野球を通して青少年の健全育成に寄与しており、昨年と同額補助が適当である。今後は自主運営に向けて努力してほしい。
18	第16回常総市近隣市町村剣道大会	常総地区剣道連盟	スポーツ振興課	100,000	75,000	B	<ul style="list-style-type: none"> ●剣道を通して青少年の健全育成を図る取組は素晴らしいと考える。補助金の充当先として、賞品代への充当が見られるが、その他に大会運営の必要経費として雑費(消耗品費・印刷代)・通信費等が25万円程あるようなので、先ずはそちらの方に補助金を活用いただきたい。賞品代・参加賞費は極力大会参加料等で賅ってもらいたい。昨年度の団体繰越金が18万5千円ほどあるようだが、昨年度の交付額以上に補助金を申請されているのはなぜか。 ●剣道を通して、将来を担う青少年の健全育成を図り心身の鍛錬、市内外の子どもたちや指導者の交流場となる大会開催は、事業として素晴らしい取組である。昨年と同額補助が適当である。 ●青少年の健全育成を図るために、大会を運営した貴連盟の取組は素晴らしい。補助金の充当先として、賞品代・参加賞費への充当が見られるが、大会としてかなり定着しており、参加者も年々増えてきており大会参加費からすると、将来的に参加費等で大会運営できることを期待している。 ●活動自体は他の少年団と同様に評価できる。市として多少の負担は必要と思うが、補助金の充当先の見直しが必要と考える。30年度の繰越金からみても更なる補助金の減額に努めていただきたい。 ●スポーツを通じ、子どもたちの健全育成に大きく貢献していると思われる。身体を使ったスポーツを通じたふれあいは、現在社会において減少傾向にあると感じている。ぜひ、今後も継続願いたい。 ●令和2年度については、繰越金と参加費で運営できると考える。 ●剣道を通して青少年の健全育成に寄与していると思われる。補助金の支出は理解できるが、繰越金も多く補助金減額が適当である。今後は自主運営に向けて努力してほしい。 ●繰越金が補助金額を上回っている。申請額の精査をお願いしたい。
19	常総市オープンバドミントン大会開催補助金	常総市バドミントン連盟	スポーツ振興課	60,000	30,000	C	<ul style="list-style-type: none"> ●年齢に制限のないオープン大会ということだが、中学生以下の参加者は何人程いるか。青少年の健全育成といった観点での補助は必要と考えるが、高校生以上の大人主体の大会であれば、会費や参加料等にて自主運営をご検討いただきたい。市内参加者と市外参加者で参加費を変える等、補助金以外の収入を増やす努力も必要ではないかと考える。 ●年齢の制限はなく、子どもから中高年までの幅広い年齢で気軽に楽しめるスポーツで社会生活における世代間の交流や地域の活性化を図る活動は評価できる。今後は参加費の見直し検討をしていただき、自主運営に向け努力して欲しい。参加者の区分、市内・市外や年齢による区分を設けるなどの工夫があってもよいのではないかと考える。 ●東西・県南地区からの年齢に制限のないオープン大会であり、市内の競技者人口が少ないことから、青少年の健全育成につながるのか疑問がある。このような大会については、会費や参加料等にて自主運営をご検討いただきたい。 ●健康増進を図る活動は大いに評価できる。参加費の増額等を検討いただき、将来的には補助金に頼らない自主運営を望む。 ●大人から子どもまで、ひとつのスポーツを通じてのふれあいの面からも公益性・必要性が高い。今後も、ぜひ継続していくべき大会と考える。 ●年1回の大会であれば、自主運営の方向で検討していただきたい。 ●成人が中心のバドミントン大会であり、少額補助金であることから自主運営に向けて努力してほしい。昨年と同額補助が適当である。 ●毎年同じ申請額に対して同じ決定額である。額を精査し、決定額に近づける努力を望む。
20	常総市シルバークラブ連絡協議会健康推進委員会スポーツ大会	常総市シルバークラブ連絡協議会健康推進委員会	スポーツ振興課	50,000	25,000	C	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の健康増進に寄与することを目的に、仲間同士で様々なスポーツを行うことはとても素晴らしい取組である。昨年度の団体繰越金が17万4千円程度あるようなので、会費等をもう少し増やせば自主運営は可能と考える。元気のみなもと補助金は、事業が軌道に乗るまでの立ち上げ支援として、原則3年間の終期設定を基本としている。最近では新たな団体等による新規事業提案もでてきており、若い世代や新規団体のためにも、自主運営の検討も視野に入れていただきたい。体育協会からの補助金収入があるようだが重複補助になっていないか。 ●高齢者が各種スポーツを通じ、仲間との出会いや交流を図り、健康保持・増進に取り組む活動は評価できるが複数の大会を開催する割には、年会費が少額ではないか。今後検討が必要ではないか。 ●高齢者の健康増進を目的に、市民が様々なスポーツを行うことは素晴らしい取組と考える。事業に対して、体育協会からも活動費・補助費があることから、会費等をもう少し増やせば自主運営は可能と考える。貴団体は、地域のために大いに貢献されているが、補助金交付開始から年数が経過しているため、新規団体のためにも自主運営を目指していただきたい。 ●高齢者の健康増進、地域活動としてのふれあい等、必要性が高いと思われる。継続すべき団体と考えるが、30年度の繰越金からみても更なる補助金の減額に努めていただきたい。 ●当市の高齢化率も30%を超え、高齢者の健康増進・地域活動としてのふれあい・介護予防と大きな役割を担っている活動と感じる。公益性・公平性・必要性が高い。少子高齢化社会の現在においては、継続すべき内容と考える。 ●令和2年度は繰越金と参加費で運営できると考える。大会費とするならば支出の内訳がわかる必要がある。 ●高齢者の健康増進に寄与する事業ではあるが、少額補助金であり自主運営に向けて努力してほしい。昨年と同額補助が適当である。 ●繰越金が申請額を大幅に上回っている。申請額の精査を希望する。さらに、シルバーは、高齢者といえ大人なので、もう少し年会費を上げて、自主運営に向けたほうが良い。

令和2年度分 元気のみなもと補助金 審査結果

No.	申請補助事業名	申請団体名	担当課	R2年度申請額(円)	R2年度交付決定額(円)	審査会の審査結果	審査委員のコメント
21	常総市サッカー協会主催少年サッカー大会	常総市サッカー協会	スポーツ振興課	168,000	84,000	B	<ul style="list-style-type: none"> ●サッカーやフットサルを通じて青少年の健全育成を図る取り組みは素晴らしいと考える。補助金の充当先として、賞品代への充当が見られる、その他に大会運営の直接経費としての事務費・消耗品が15万円程あるようなので、まずはそちらの方に補助金を活用いただきたい。賞品代・参加賞費は極力大会参加料等で賅ってもらいたい。 ●子どもたちの体力低下が問題になっている現在、サッカーを通して子どもたちの体力向上とサッカー競技の普及に貢献している活動は評価できる。大会の商品については近隣市町村からの参加費を増額を検討するなどの努力が必要である。昨年と同額補助が適当である。 ●補助金の充当先として約7割が商品代となっていることから大会参加料を増額するなどして、充当先を見直していただきたい。なお、賞品代・参加賞費は、極力大会参加料等で賅ってもらいたい。 ●大会の賞品代に多額の補助金を充てている点に少々疑問に感じる。補助金の充当先を再考し、参加費の増額等を検討していただきたい。 ●青少年のサッカー人口が増加する中、各種大会への参加を通じ青少年の育成に寄与している団体と捉える。やはり身体を使ったスポーツを通じたふれあいは、公益性・必要性がある事からも継続すべき大会と考える。 ●青少年の健全育成を図る上では評価できる。しかし、繰越金が約6万5千円あるので、補助金は減額すべきと考える。活動回数が1回であれば自主運営を検討していただきたい。 ●サッカーを通して青少年の健全育成に寄与していると思える。昨年と同額補助が適当である。今後は自主運営に向けて努力してほしい。 ●大会としての繰越金は0である。今後は、賞品をスポーツメーカーに協賛を募るなど、支出抑制の工夫を検討すると良い。
22	グラウンド・ゴルフ活動事業補助金	常総市グラウンド・ゴルフ協会	スポーツ振興課	50,000	22,000	C	<ul style="list-style-type: none"> ●グラウンド・ゴルフを通じて健康増進を図る取組は素晴らしいと考える。参考までにお子様は何名程参加されているか。昨年度の団体の繰越金が7万7千円程度あるようだが、これはどのように活用されるのか。参加賞をもれなく授与とあるが、賞品代・参加賞費は極力大会参加料等で賅ってもらいたい。元気のみなもと補助金は、事業が軌道に乗るまでの立ち上げ支援として、原則3年間の終期設定を基本としている。最近では新たな団体等による新規事業提案も出てきているため、若い世代や新規団体のためにも、それぞれ自主運営の検討も視野に入れていただきたい。 ●グラウンドゴルフは、高齢者でも気軽に楽しめるスポーツとして人気がある事は評価できる。また、運動不足解消や健康増進として成果を上げていることも素晴らしい事業であるため、今後も継続すべきと考える。しかし、大会の賞品については、年会費の増額を見直し検討が必要である。 ●貴協会は、地域のために大いに貢献されているが、補助金交付開始から年数が経過しているため、新規団体のためにも大会の賞品等を見直しいただき、自主運営を目指していただきたい。 ●高齢者の運動不足解消や健康増進として大いに評価できる。市として多少の補助は必要と思うが、補助金の充当先の見直しが必要と考える。将来的には補助金に頼らない自主運営を望む。 ●当市の高齢化率も30%を超え、高齢者の健康増進・地域活動としてのふれあいや介護予防と大きな役割を担っている活動と感じる。公益性・公平性・必要性が高い。少子高齢化社会の現在においては、継続すべき内容と考える。 ●繰越金が補助金を上回り、独立した運営が可能と考える。 ●高齢者の健康増進に寄与する事業であるが、少額補助金でもあり自主運営に向けて努力してほしい。昨年と同額補助が適当である。 ●高齢社会の今、生きがいづくりや孫との交流など、効果としては認められると思う。繰越金が申請額を上回っているのが気になる。もう少し申請時の精査を望む。
23	絹西柔道クラブ交流練成大会	絹西柔道クラブ	スポーツ振興課	227,250	60,000	C	<ul style="list-style-type: none"> ●柔道を通じて青少年の健全育成を継続的に図る取組は素晴らしいと考える。大会の継続していくために事業を縮小したとのことだが、補助金の申請額が15万円以上も増額となっているのは何故か。元気のみなもと補助金は市税が原資となっているため、大会運営費が厳しいのであれば、市税を活用している事を理由に市内参加者と市外参加者の負担金に差を付けることはできないか。補助金を主に賞品と参加賞代に活用するようだが、まずは、大会運営の直接経費である印刷代や消耗品等に活用いただき、賞品代等については極力参加費等で賅っていただくようお願いする。 ●柔道を通じて健全な青少年育成と近隣の団体との交流の中で技術だけでなく青少年の社会性の向上に貢献している取組は素晴らしい活動であるが参加費を検討していただき、自主運営に向け努力していただきたい。 ●補助金申請額が前年の4倍くらいになっている理由は何か。また、補助金の充当先として5割以上が商品代となっていることから大会参加料を増額するなどして、充当先を見直していただきたい。なお、賞品代・参加賞費は、極力大会参加料等で賅ってもらいたい。 ●活動自体は他の少年団と同様に評価できる。市として多少の負担は必要と思うが、他の少年団より補助申請額が少し多いように思われる。公平性を考え、参加費の増額等を検討していただきたい。また、補助金の充当先の見直しが必要と考える。 ●絹西柔道クラブは活発な活動を継続している様子が伺える。公益性・必要性も高いと感じる。今後はスポーツを通じて青少年の健全育成を図り、再度全国大会に出場できるよう頑張ってください。 ●平成31年度の補助申請額を令和2年度の申請額の約15万円の増の理由は何か。また、健康増進、防犯意識の向上の為に大会と考えるため、参加費は補助金で充当しなくても良いのではない。昨年同様の補助金で運営をお願いします。 ●柔道を通して青少年の健全育成に寄与しており、昨年と同額補助が適当である。今後は自主運営に向けて努力してほしい。 ●賞品代(トロフィーの協賛は難しければ、参加賞だけでも)、協賛等を検討してはどうか。